



紋別市立渚滑小学校

令和5年度 学校評価について

保護者の皆様には、12月に実施した「保護者アンケート」にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。本校の教育活動に高い関心をもっていただいていることに深く感謝申し上げます。本校では、学校教育法施行規則に基づき、学校評価を行っております。今回は、職員による自己評価、児童及び保護者アンケートを実施しましたので、結果比較、分析したものを皆様にお知らせいたします。

アンケートを基に、令和6年度に向け、さらによりよい学校をつくっていただけるように努力いたします。

令和5年度 紋別市立渚滑小学校 学校評価（三者比較）

【評価規準】 A 十分できている B 概ねできている C 少し不足している D 不足している

【数値】 A 100点 B 75点 C 50点 D 25点 （4段階評価を点数に変換）

※後期（今回実施）は上段、前期（7月実施）は下段です。

※85点以上を「達成している」、80点以上を「おおむね達成している」と押さえております。

1 学びづくり

		教師	保護者	児童
①	(教 師) 単元及び1単位時間における、指導と評価の一体化を図った授業づくりに努めていたか。	93	86	86
	(保護者) 学校は、学習内容の充実・定着を図るよう努めていますか。	79	90	90
	(児 童) 授業は楽しいですか。また、授業で学習した内容はよくわかりましたか。	(+14)	(-4)	(-4)
②	(教 師) 「関わり合える子ども」の実現に向け、「自己評価能力」や「自己調整能力」の育成を意識した授業ができたか。	93	89	89
	(保護者) 学校は、粘り強く考えて取り組み、自分の学習の状況を振り返る力を高める授業に努めていましたか。	92	89	84
	(児 童) 授業では学習したことを振り返る活動がありましたか。また、振り返ること、次に頑張りたいことをはっきりさせることができましたか。	(+1)	(±0)	(+5)
③	(教 師) 授業との関連を図った宿題の出し方の工夫や家庭学習の質的向上につながるような指導・支援を行うことができたか。	79	83	63
	(保護者) 学校は、家庭学習を推進し、授業との関連を図った宿題の提示に取り組んでいますか。	79	90	77
	(児 童) 自主学習を続けて取り組むことができましたか。	(±0)	(-7)	(-14)

2 心づくり

④	(教 師) いじめや不登校など、問題行動の未然防止や早期発見・対応等、一人で抱え込まず学校として対応できたか。また、「いじめはどんなことがあっても許されないこと」を子どもが認識できているか。	100	89	88
	(保護者) 学校は、いじめがなく、思いやりをもって人と接する態度を育むよう努めていましたか。	100	91	89
	(児 童) 相手にいやな思いをさせませんでしたか。もしさせてしまったときに謝ることができるなど、友達に対して思いやりの心をもつことができましたか。	(±0)	(-2)	(-1)
⑤	(教 師) 全教育活動を通して子どもが多様な価値観や存在を受け入れ、望ましい人間関係を構築できるような活動を工夫できたか。	90	90	87
	(保護者) 学校は、多様な価値観を受け入れ、望ましい人間関係を構築するための心が育つような指導に努めていましたか。	96	91	90
	(児 童) 友達との違いを受け入れ、認めることで友達関係をよりよいものにしようと努力できましたか。(結果うまくいかなくてもよい)	(-6)	(-1)	(-3)
⑥	(教 師) 子どもの自己評価能力、自己調整能力を育てる学年・学級経営の充実に努めることができたか。	93	88	91
	(保護者) 学校は、子ども自身が自分と向き合い、自分の感情や行動をコントロールできる力を高める指導・支援に努めていましたか。	92	93	92
	(児 童) 自分の失敗したことや弱さと素直に向き合うことができましたか。また、先生はあなたを認めてくれましたか。	(+1)	(-5)	(-1)

⑦	(教 師)「特別の教科 道徳」で、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的実践力を育てることができたか。 (児 童)道徳の授業で、心について考えることができましたか。	82 79 (+3)		88 92 (-4)
---	---	------------------	--	------------------

3 体づくり

⑧	(教 師)体力向上プランの具体的方策に基づいた授業改善や体育的行事の充実を図ることができたか。 (児 童)体育など運動の場面で、自分なりの目標を立て目標に向かってあきらめずに取り組むことができましたか。	89 96 (-7)		91 91 (±0)
⑨	(教 師)子どもたちの安全に気を配り、心身ともに健康で、たくましく生活を送ることができるよう努めることができたか。 (保護者)学校は、子どもたちの安全に気を配り、心身ともに健康な生活を送ることができるよう努めていますか。 (児 童)安全や健康について考え、元気に生活できましたか。	97 88 (+9)	88 94 (-6)	83 88 (-5)

4 家庭・地域との連携

⑩	(教 師)保護者や地域の方が学校に相談や訪問でき、共に関わり合える関係を創り、適切に対応することができたか。 (保護者)学校は、保護者にとって連絡や相談をしやすく、適切に対応していますか。 (児 童)先生は話を聞いてくれましたか。また、困ったときや悩んでいるときに、相談できましたか。	88 93 (-5)	81 90 (-9)	89 94 (-5)
⑪	(教 師)保護者（・地域）への積極的な情報発信と連携の充実を図ることができたか。 (保護者)学校は、学年・学級通信、学校だよりやブログなどを通して学校の様子を保護者・地域に伝えることができていますか。	88 96 (-8)	88 91 (-3)	

※ 目標達成

⑫	(児 童)前期の目標を達成するために努力する事ができましたか。			89 85 (+4)
---	---------------------------------	--	--	------------------

※本校はアンケート数が少ないため、数値の変動が大きいことから、±5ポイントで「上がった・下がった」を判断しています。
数値の変動だけでなく、記述評価も踏まえ「なぜその評価にしたのか」その背景も考えながら分析・考察するようにしています。

【学校評価考察】

0 全般

- ほとんどの項目で「おおむね達成している」（80点以上）と言えますが、前期との比較では下がった項目が多い結果となりました。本校では数が少ないため、プラスマイナス5点で上がり下がり判断することとしています。特に、家庭学習、安全教育、家庭との連携については大きく下回る結果となりました。

1 学びづくりにかかわって

- 授業については、三者とも「達成している」（85点以上）となりました。特に児童評価が前期と比較しプラス5点上げたことから、振り返りの取組が子どもたちに定着してきている成果と言えます。
- 三者とも数値が低かった項目が「家庭学習」です。児童評価が低い理由として、「自主学習を“続けて”取り組めたか。」の“続けて”の認識にズレが生じている可能性がある（学校としては十分に取り組んでいるとみているが、子どもたち自身がハードルを上げている）ため、どの程度取り組んでいればよいのか、質や程度の共有が必要であると考えます。保護者評価が低い理由として、「学校としての取組」で評価しているのか、「ご家庭でお子さんが取り組めているか」で評価しているのか、判断が難しいところが理由として挙げられます。今後、取組の意図や自主学習の考え方やいろいろなやり方について、保護者のみなさまと共有を進めていきます。

2 心づくりにかかわって

- 三者とも「達成している」（85点以上）となりました。望ましい人間関係の構築については本校の力を入れてきた取組の一つですので、子ども自身が実感できつつあること、保護者のみなさまに理解されつつあることに感謝しています。

3 体づくりにかかわって

- 体力向上について、縄跳びの取組では、自分なりに目標をもって取り組める（個人）、集団での学びが生かせる（大縄）など、本校の取組として定着してきました。今後も日常的な運動（遊び）も大事にしながら体力向上に努めていきます。
- 一方、安全教育については教職員の評価と、保護者・児童評価に乖離が見られました。危機管理の面での対応（特に事前のお知らせ）が遅れたことも評価を下げる要因の一つと押さえています。早めの情報発信と保護者への確認に努めてまいります。

4 家庭・地域との連携

- 情報発信については「達成している」（85点以上）となりました。一方、共に関わり合える関係をつくり、適切に対応することができたか、という項目については、「おおむね達成している」と評価いただきましたが、前期と比較し大きく評価を下げる結果となりました。「適切な対応」の認識にズレが生じていることも要因の一つと捉えています。より一層学校のことを知っていただけるように努力するとともに、子どもを中心とした連携を図ることができるよう、進めていきます。

5 その他

※重点教育目標についてのご意見をいただきました。本校のねらいとしては、学力を支える心を大切に、そのことを教育活動と結び付けて発信していきましました。また、子ども・学校・保護者が目標の共有を大事にしながら教育活動を進めていく必要があると押さえ、ここまで進めてきました。しかし、このようなご意見からその共有が十分とは言えないと押さえております。改めて発信の仕方や保護者のみなさまとの共有の仕方と考えていきます。

※特認校ならではの特色があってもよいのでは（例えば、通知表がない、宿題がない）、というご意見をいただきました。本校の教育活動全てが特色と捉えております（特に、少人数指導を生かしたきめ細やかな指導、子どもたちの丁寧な見取り、共通認識・共通行動を大事にし、教職員一体となった教育活動）。しかし、そのことに対する発信の仕方など、学校として十分ではないと押さえております。少人数指導、体験的な活動、小中連携等様々な視点から学校の特色とご理解いただけるよう、努めてまいります。